

益子貴寛の「これ読も10(テン)」

2018年10月号

執筆: 益子 貴寛 (株式会社まぼろし)

この連載では、個人や中小企業でホームページ制作や運用を担当している人、店舗などを運営しながらホームページづくりに関わっている人に役立つ記事を10個、解説つきで取り上げます。

## 1. 【決定版】ネットショップのSEO対策で本当に大事な7つの事(売れる!ネットショップの教科書)



今月のイチオシ記事。

インターネットショップの**商品詳細ページのSEO**について、以下の7つのポイントを解説しています。

1. 商品に対するペルソナを設計する
2. ロングテールを狙う(ビッグワードを狙わない)
3. フックとなるキーワードを3つ決める
4. スモールワード・ミドルワードを商品名に入れる
5. 商品についてのストーリーを説明文にする
6. JANコード、メーカー型番は必ず記載する
7. Googleアナリティクスなどで成果を分析、調査、改善する

上記のあとにも、**インターネットショップの運営方針**について参考になる意見がたくさん。ぜひ最後まで一読しましょう。

通常のホームページやオウンドメディアなどにも活かせる記事です。

<https://urerunet.shop/seo/seo180925>

## 2. オンライン決済サービス15選。手軽な決済方法で、アパレルECはもっと身近になる(ネットショップ担当者フォーラム)



インターネットショップでは、**決済方法の多様化にキャッチアップ**することが、消費者満足に直結する時代です。

また、オンライン決済に対応するだけでなく、**決済プロセスが短いこと**が大切。この記事では、15のサービスの特徴をわかりやすくまとめており、決済方法の見直しにあたって参考になるはずです。

<https://netshop.impress.co.jp/node/4317>

## 3. 気がつけばキャッシュレス社会 現金お断りの店も(NIKKEI STYLE)

決済方法の多様化は、リアル店舗のあり方にも大きく影響しています。



#### 日本のキャッシュレス決済の比率は約20%

。政府は2025年までに40%に高めるという方針を発表しています。同じアジア圏でも、韓国はすでに90%以上、中国は約60%、インドは約35%。欧米は40%から60%くらいのところが多いようです (ebisumart Media「世界のキャッシュレス比率から日本のキャッシュレス化の現状を解説!」参照)。

このような中、東京の馬喰町駅の近くに、外食大手のロイヤルホールディングスが「GATHERING TABLE PANTRY」という「現金お断り」のレストラン

を開店させました。一人ひとりの支払い時間の大幅な短縮、閉店後の精算や釣り銭の準備が不要になること、盗難や紛失のリスクがなくなることなど、さまざまなメリットがあるでしょう。

また、社員食堂の支払いにLINE

Payを導入した企業もあるそうで、今後もキャッシュレス化の流れが加速しそうです。

<https://style.nikkei.com/article/DGXMZO33425390W8A720C1000000>

## 4. DHCが生放送+ECのライブショッピング「DHC ライブチャンネル」をスタート (ネットショップ担当者フォーラム)



最近、よく耳にする「ライブコマース」という言葉。

タレントやその分野のインフルエンサーがライブ配信の映像で商品をアピールし、視聴者がリアルタイムにコメントや質問を投げかけながら商品を購入する方法です。

国内でもいくつかの配信プラットフォームが立ち上がっている中、化粧品やサプリメントを販売するDHCが「DHC ライブチャンネル」をスタート。通常の広告やインフォマーシャルとはまた違った切り口で、消費者に新たなショッピング体験を提供するようです。

ライブコマース、これから注目の分野です。

<https://netshop.impress.co.jp/node/5796>

## 5. iPhone, iPad, Apple Watch ディスプレイサイズ一覧 (note)



先日、iPhone XS, XS Max, XRが発売され、ますます混迷の度を深めるモバイルの画面サイズ。

この記事では、Apple製品であるiPhone, iPad, Apple Watchの画面サイズをチートシートのわかりやすくまとめています。ピクセルサイズはもちろん、ppi (pixel per inch)、Retinaなど細かな仕様までカバーしており、たいへん参考になります。

<https://note.mu/onthehead/n/nf7160f46e8e3>

## 6. 1時間でできる!インフォグラフィックづくりで楽しく学ぶGoogleデータスタジオ (Qiita)



Googleデータスタジオでインフォグラフィックスを作る方法を詳しく解説しています。

数字の部分はGoogleスプレッドシートにまとめたデータと連携させたりと、覚えておくと便利な機能がワークフロー

で学べます。

データの取りまとめなども含めると、1時間でゼロから作るのはむずかしそうですが、インフォグラフィックを作る際に思い出したいアプローチです。

<https://qiita.com/miyanaga/items/9358bc09b074db72b40f>

## 7. 広告会社アマゾンの成功が約束されている理由、グーグル・FBとは明らかに違う(ビジネス+IT)



Amazonは本業である小売事業に加えて、2006年からはクラウド事業(AWS)をスタート。さらに、今後は**広告事業を本格化させる**そうです。

インターネット広告は、リスティング広告ではGoogle(日本ではYahoo! JAPANも)、ソーシャルメディア広告ではFacebookの「二強」時代が続いてきましたが、今後は**Amazonが加わり「三強」時代になるとのこと**。

Amazonの広告事業の高いポテンシャルは、「すでに2016年の時点で55%のユーザーが、グーグルではなくアマゾンで最初に使って欲しいものを探していた。アマゾンは単なるオンラインのマーケットプレイスではなく、**世界最大のショッピング検索エンジン**なのである」という点からも納得できます。

<https://www.sbbit.jp/article/cont1/35525>

## 8. ネット広告ビジネスが10年は後戻りするかも… GDPRに続く「クッキー法」とはなにか? (データのじかん)



続いて、インターネット広告に関する記事です。

EUの個人情報に関する「一般データ保護規則」(GDPR)をご存知の方も多いと思いますが、さらに「eプライバシー規制」(通称、**クッキー法**)がEUで可決される見込みとのこと。

現在、インターネット広告では、ユーザーのブラウザに保存されるクッキー情報を利用した「ターゲティング広告」が幅広く活用されています。あるメディアサイトで記事を読んだり、インターネットショップで商品を買ったりしたあと、それらに関する広告が表示されるのが、ターゲティング広告の代表例です。

記事にかかっているとおり、

**クッキー法によって「ネット広告は10年以上時間を巻き戻して、バナーのクリエイティブで勝負していた頃に戻るのかもしれない」という予測は、大いにありえること**。

今後も、EUのクッキー法の動向に注目しましょう。

<https://data.wingarc.com/cookie-law-and-privacy-12541>

## 9. Google Search Consoleの使い方(SEOの森)

Google Search

Consoleは最近、新バージョンの管理画面が標準になりました。ひさしぶりにログインして驚いた方もいるでしょう。



この記事では、**新バージョンの管理画面**

についていねいに解説。画面構成やラベルが大幅に変わっていたり、新しい機能がいろいろと追加されています。ゆっくりとキャッチアップしましょう。

なお、検索クエリについて、旧バージョンは直近3か月までのデータ取得でしたが、**新バージョンでは16か月まで**となり、たいへん便利になりました。

<https://seoer.work/google-search-console/>

## 10. サイトに災害時のお知らせはいつまで載せる？ 若手はどう育てる？ ベテランWeb担当者が語った悩みと課題 (Web担当者Forum)



2018年は、大型の台風や豪雨災害、地震などに見舞われた1年でした。

この記事は、日本アドバイザーズ協会が8月に開催したWeb広告研究会セミナーのレポート。次の4つのトピックが扱われています。

1. 異常気象の連鎖で考える緊急時の対応
2. ビジネス環境の国際化
3. ユーザーの多様化と配信環境の変化
4. サイトマネジメントの推進

### 緊急時のお知らせを取り下げるタイミング

について、「他社と横並びか、あとは新年を迎える時ですね」という発言に、何となく心が和らぎました。

<https://webtan.impress.co.jp/e/2018/10/16/30721>

次回のコラムを見る »



### 益子 貴寛(ましこ・たかひろ)

株式会社まぼろし 取締役CMO

<https://maboroshi.biz/>

1975年、栃木県宇都宮市生まれ。早稲田大学大学院商学研究科修了。

Webサイトのコンサルティング、企画・設計、制作業務、教育、執筆活動に従事。社団法人全日本能率連盟登録資格「Web検定」プロジェクトメンバー。元・金沢工業大学大学院工学研究科(東京・虎ノ門大学院) 知的創造システム専攻 客員教授。

主な著書に『Web標準の教科書』(秀和システム)、『伝わるWeb文章デザイン100の鉄則』(同)、『現場のブロから学ぶXHTML+CSS』(共著、マイナビ)など。

2017年5月、企画・構成から監修、執筆まで総合的に関わった書籍『ウェブの仕事力が上がる標準ガイドブック 3 Webディレクション 第3版』(ワークスコーポレーション)が発売。